これらの有意差が認められた課題のうち、「積極的に作業に取り組む」「まじめに仕事をする」「素直に注意を聞く」「むやみに休まない」「自他のものが区別できる」の５課題については、高等部教員の「できなくてはならない」への回答率が事業所の回答率を上回った。一方、他の13課題では、いずれも事業所の「できなくてはならない」への回答率が高等部教員の回答率を上回った。

また、「できなくてはならない」に関してその並び順を比較すると、「むやみに休まない」「素直に注意を聞く」「真面目に仕事をする」「積極的に作業に取り組む」に対する高等部教員の評価に比べて、事業所の評価は低いこと、反対に「順番や交代の意味が分かる」「決まりや礼儀を守る」「約束を守る」「うそや言い訳をしない」「決まりや礼儀を守る」「協同の道具を大切にする」「整理整頓ができる」に関しては、事業所の評価が高いことなど、課題の必要度に関する並び順が異なっており、両者の間には準備性に関して意見の相違が認められた。

次に、「できなくてはならない」に「できた方がよい」を加えた回答率に注目すると、有意差の認められた課題のうち「順番や交代の意味が分かる」の１課題を除き、高等部教員の回答率は他のすべての課題において事業所の回答率を上回った。

（３）意思の表示について

『意思の表示』では、25課題中24課題において回答傾向に有意な差が認められた。これらの有意差が認められた課題のうち、「名前を呼ばれたら返事をする」「仕事が終わったら報告する」の２課題については、高等部教員の「できなくてはならない」への回答率は、事業所の回答率を上回った。一方、他の22課題ではいずれも事業所の「できなくてはならない」への回答率は高等部教員の回答率を上回った。

また、「できなくてはならない」に関してその並び順を比較すると、図3-3（ａ）（ｂ）に見られるように両者の意見は異なっており、準備性に関して異なった意見を有していると考えられる。しかしながら、上位５課題は並び順は異なるものの同じ課題であり、重要性が高いと考える課題についての意見は、比較的一致しているといえよう。

次に、「できなくてはならない」に「できた方がよい」を加えた回答率に注目すると、有意差の認められた課題のうち、先ほどの２課題に「話す相手と視線を合わせる」を加えた３課題を除き、事業所の回答率は他のすべての課題において高等部教員の回答率を上回った。

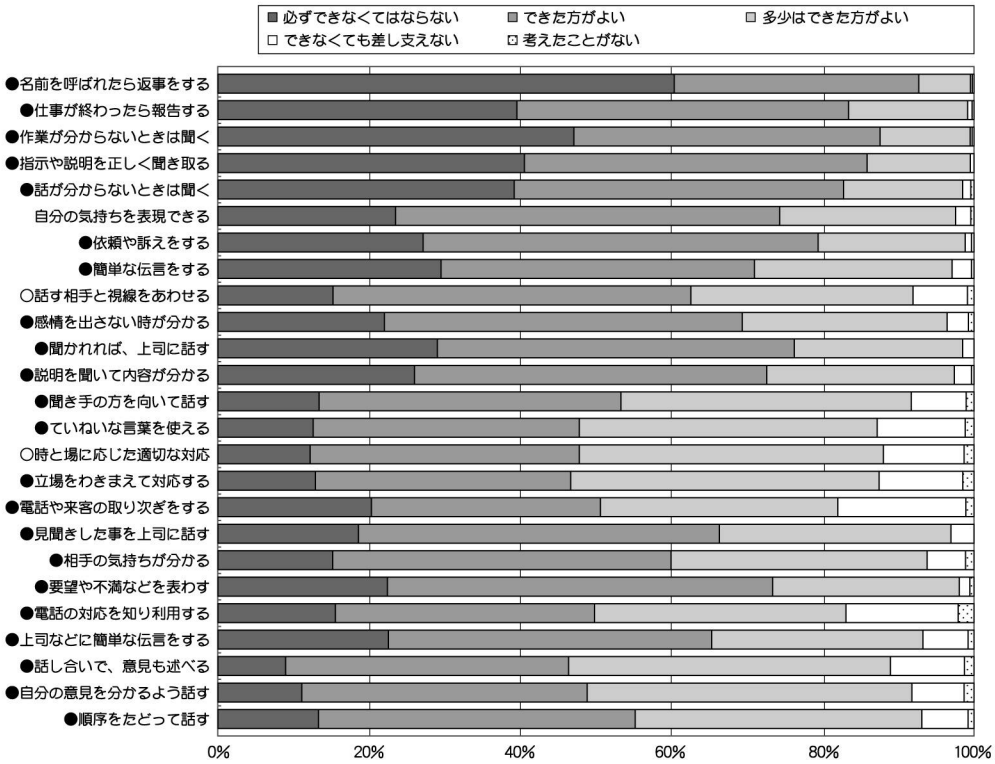

図３－３（ａ）　意思の表示（事業所）

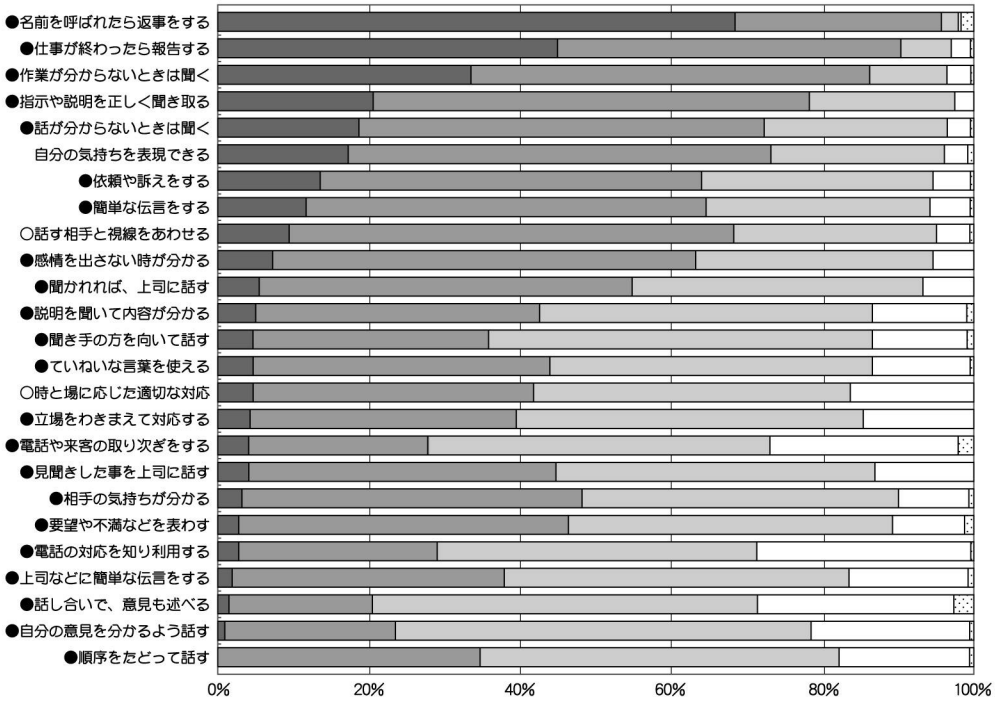

図３－３（ｂ）　意思の表示（高等部教員）